

仕 様 書

1. 工 事 名 福岡県国保会館 二酸化炭素消火設備ボンベ他更新工事

2. 仕様、数量 「仕様明細」参照

3. 工事条件

(1) 履行期間 契約締結日から令和 8 年 2 月 28 日まで

(2) 工事場所 福岡市博多区吉塚本町 13 番 47 号 福岡県国保会館

4. 範 囲 「仕様明細」参照

5. 特記事項（条件、その他）

ボンベ更新の為、既設制御盤メーカー（日本フェンオール製）を使用すること。

6. 規格、基準、法令等の準拠

(1) 関係法令

- a. 労働基準法及び労働安全衛生規則
- b. 消防法
- c. 計量法
- d. 高圧ガス保安法
- e. 電気設備に関する技術基準

(2) 関連規格基準等

- a. J I S
- b. J E C
- c. J E M

7. 現場確認

見積書作成にあたり現場確認を希望する場合は、令和 7 年 9 月 11 日（木）午後 5 時までに次の連絡先へ連絡し、現場確認を行う日程（日付と午前、午後の別）を第 3 希望まで伝えること。現場確認は、原則平日午前 9 時から午後 5 時の間で 60 分程度とし、1 回までとする。また、現場確認時に仕様等について疑義が生じた場合は、既定的方法により質問を行うこととし、その場での質疑回答は行わないものとする。

連絡先 福岡県国民健康保険団体連合会 総務課 総務係
電話 092-642-7800

8. 作業手順

(1) 調査・確認

本設備の状態を調査・確認後、作業計画書を作成し、手順等の確認を行うこと。

なお、本工事においては、各種法令等を遵守し、関係法令等に基づく手続きは、受注者において遅滞なく行うこと。

(2) 養生・準備

作業場所において、交換作業を行う際、周辺機器等に支障が無いよう養生を行うこと。

また、既設設備との連動について、十分確認を行い、事前処理を行うこと。

9. 負担範囲

材料および工事の検査並びに、施工に伴う調査、試験諸手続きに必要な費用は受注者の負担とする。なお、本仕様書等に記載していないものでも、設備の機能、保安及び法令上必要なものはすべて受注者の負担で完備するものとする。

10. 作業日時

作業日時については、業務に大きな影響を及ぼさない日程（土日祝日中）で行うことを前提とし、受注者と協議のうえ決定する。

11. 検査

施工場所において受注者立ち会いのもと、業務履行確認のための検査を実施する。

12. 作業計画と作業記録の報告

(1) 作業前に機器仕様書及び作業計画書を提出し、本会の承諾を得ること。

(2) 作業前の状況確認を行い、写真記録を撮ること。

(3) 作業中及び完了の写真記録を撮ること。

(4) 作業終了後、作業前確認記録及び作業後確認記録について、写真を添えて提出すること。また、完成図、サービス体制表、故障連絡先、保証書、完了届等も併せて提出すること。

13. 請求及び支払

(1) 本会は、適法な請求書に基づき、受理した日の翌月末日までに受注者に対して代金を支払うものとする。

(2) 消費税及び地方消費税に相当する金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

14. その他

(1) 受注者は作業にあたって、事故の予防に努めること。

(2) 受注者は、作業中に事故が発生したとき、建物及び付帯設備等を棄損したときは、直ちに本会に連絡し、その指示に従い対応すること。

(3) 作業に関係する法令等を遵守し、適用運用は受注者の責任と費用負担において行うこと。

(4) この仕様書に記載のない事項等については、両者協議の上決定するものとする。

仕様明細

項 目	数 量	単 位	記事（仕様）
1. 機器納入			
(1) 二酸化炭素容器	29	本	型式：CC-82U 容量：82.5L
(2) 起動容器	2	本	型式：PAC-002 容量：2.0L
(3) 手動起動装置 防滴露出ケース	2	台	型式：MBWS-10
(4) 放出表示灯（露出型）	2	台	型式：ST-S-G
(5) 放出表示灯（防滴型）	3	台	型式：ST-L-G
(6) ホーンスピーカ	2	台	型式：NK-305T
(7) 差動式分布型感知器	6	個	2 種
(8) 差動式分布型感知器	6	個	3 種
(9) 二酸化炭素消火設備 容器置場銘板	1	枚	型式：CCN-01
(10) 不活性ガス消火設備 手動起動装置銘板	1	枚	型式：CMN-02H
(11) 二酸化炭素消火設備 防護区画用注意銘板	3	枚	型式：CPC-1
(12) 二酸化炭素消火設備 音声退避銘板	3	枚	型式：CEN-02V
(13) 不活性ガス（二酸化炭素）消火設備 起動注意銘板	1	枚	型式：CAC-0
(14) 二酸化炭素消火設備 危険標識銘板	3	枚	型式：CDC-01
2. 工事内容			
(1) ボンベ・機器撤去工事	1	式	・ボンベ架台、配管、配線は既設流用とする。
(2) ボンベ・機器取付工事	1	式	
(3) 階段下天井ボード開口、復旧工事	1	式	・ボンベ搬出、搬入のための天井ボード開口及び復旧工事を行うこと。
(4) 試験調整	1	式	・各電気機器の動作に問題のないことの確認、試験を行うこと。
			・ボンベに関しては据付後の試験はなし。
			・立体駐車場の操作は含まない。
			・放出試験は含まない。
(5) 官庁手続申請	1	式	・消防署へ提出する必要がある書類を作成すること。
(6) 消防検査立会	1	式	立体駐車場の操作は含まない。

【特記事項】
・ 操作ミスによるガスの放出がないよう、十分注意して作業すること。
・ 現行の消防法に合わせて施工すること。
・ 消防検査は平日昼間とし、関係者間の日程調整を行うこと。